



第7回

安全な投資をするために① 分散投資



渋谷 英子



津田 桜子



北里 三郎

渋谷 お金の疑問にパキッと回答、「お金なんでも相談室」。ナビゲーターの渋谷英子です。

北里 北里三郎です。

津田 津田桜子です。

津田 / 北里 よろしくお願ひします！

渋谷 今日はクイズからスタートしましょう。
①1社の株式に投資するのと、②複数社の株式に投資するのとではどちらが安全性が高いと思いますか？

北里 株式ってハイリスク・ハイリターンだから、たくさん持っていたら危ないですね。だから、答えは①！

渋谷 ①ですか……
三郎さん、「卵を1つのかごに盛るな」ということわざは聞いたことがありますか？

北里 卵、かごですか？ 聞いたことないな～。

津田 あ、私、その言葉聞いたことがあります。
確か……持っている卵を全て同じかごに入れておくと、もしかごを落としてしまったら、すべての卵が割れてしまう。でも、卵をいくつかのかごに分けて入れておけば、1つのかごを落としてしまっても、全ての卵が割れることはない。

渋谷 そう、つまり資産は分散して持っていた方が安全ということをお卵にたとえたことわざです。投資の場合も、1つの投資先に全てまとめるのではなく、いくつかの投資先に分けて行う方が、リスクを抑えることができるわけです。
このように複数の金融商品に分けて投資することを**分散投資**といいます。
ですから、複数社の株式に分けて投資する方が安全性が高くなる、というのが先程のクイズの正解です。三郎さん、残念でした。

北里 そうか、じゃあ、僕は旅行が好きだから、旅行関係の会社に投資しようとした場合、旅行会社のA社の株式をまとめて買うのではなく、鉄道会社のB社やホテルを営んでいるC社の株式も買って分散投資した方が安全ということですね。

渋谷 そうということです！ 例えば株式の場合、異なる複数の会社に投資すること、これが分散投資の方法の1つである**銘柄の分散**です。
さらに、旅行関係以外の会社にも投資をすれば、より分散投資の効果を高めることができます。

津田 ほかにはどんな分散投資の方法があるんですか？

渋谷 今は株式の銘柄の組み合わせの例でお話ししましたが、株式より安全性の高い債券など異なる金融商品を組み合わせることで、より分散投資の効果を高めることができます。これを**資産の分散**といいます。

津田 異なる金融商品を組み合わせるということは、外国の金融商品も組み合わせていいんですか？

渋谷 良い質問ですね。それも1つの方法です。
日本の金融商品とアメリカやイギリスなど外国の金融商品を組み合わせる方法もあります。これを**地域の分散**といいます。
実はもう1つ、大事な分散の視点があるのですが、わかりますか？

北里 金融商品の種類と地域、あと1つ……わかりません。

渋谷 それは**時間の分散**です。

津田 / 北里 時間の分散??

渋谷 簡単にいうと、購入時期を分けて投資をすることです。これについてはまた詳しく説明しますね。
今日覚えておいてほしいのは、金融商品や時間を分散させて投資することでリスクを抑えることができる、ということです。

北里 分散っていっても、そんなにたくさんの金融商品は買えないです。

渋谷 そういう人もいますよね。
そこで複数の金融商品を詰め合わせた投資信託があります。投資信託は少額で投資ができますし、購入のタイミングを複数に分ければ、時間の分散にもなります。
今日は、投資の安全性を高める分散投資についてお話ししました。分散投資、わかりましたか？

津田 / 北里 わかりました！

北里 投資は分散するけど、僕は桜子ちゃん一筋だよ！

津田 え～……

今日の授業のおさらいだよ。
・複数の金融商品を組み合わせて投資することを**分散投資**という
・分散投資をすることで**リスクを抑える**ことができる
・分散投資には、異なる銘柄や金融商品を組み合わせる**銘柄・資産の分散**と、外国の金融商品を組み合わせる**地域の分散**がある
・このほかにも購入時期を分ける**時間の分散**がある
わかったかな。